

福岡共同 公文書館だより

Fukuoka Communal Archives

vol.15

令和元年11月
November 2019

福岡共同公文書館
令和元年度 第二回企画展

学校給食 ヒストリー



写真提供：独立行政法人日本スポーツ振興センター

令和元年
7月23日(火)～9月29日(日)

観覧無料

開催場所 福岡共同公文書館
福岡県筑紫野市上古賀1丁目3番1号
開催時間 9:00～17:00
休館日 月曜日、祝日
※月曜と祝日が重なる場合はその翌日も休館
お問い合わせ 092-919-6166

講演会のお知らせ

記録・文献史料にみる福岡県の食文化誌
～福岡の鶏肉・鶏卵の食文化を中心に～
令和元年7月27日(土)14:00～16:00

＜講師＞ 日本経済大学 教授 竹川克幸氏
＜会場＞ 福岡共同公文書館 2階研修室
＜定員＞ 80名 事前申込/先着順

交通アクセス

JR 「二日市駅」下車、徒歩約13分または
西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分
西鉄 「二日市駅」下車、西鉄バス
「警察署前」バス停より徒歩約1分
車 九州自動車道「筑紫野インター」より約5分



福岡共同公文書館には
全くの収蔵金が
活用されています。



▲ 高校生が作成した「みどころ紹介ポスター」



▲ 来館者でにぎわう展示室



▲ 体験コーナー
「石蠟」を使って
みよう



▲ 参加型展示コーナー
「小学校の思い出」

TOPICS

令和元年度 第1回企画展 2～3 ページ
学校給食ヒストリー

- 日めくり公文書館 4～5 ページ
- 公文書館のしごと 6 ページ
- 活動報告 7 ページ
- 所蔵資料のご紹介 8 ページ

「学校給食ヒストリー」

令和元年度第1回企画展として7月23日（火）

令和元年9月29日（日）まで、「学校給食ヒストリー」

を開催しました。夏休み中ということもあり、家族

で楽しめる展示を企画しました。小学校生活のな

かでも、ひととき思い出深いのが給食の時間です。

献立表を見て喜ばしたことが、みなさん経験してい

るのではないのでしょうか。今回の展示では、そんな

学校給食が、いつごろ始まり、どのような歴史をた

どつたのか、ということも、給食の舞台となった小学

校の歴史とともにご紹介しました。年代別の給食

のレプリカも、展示室を楽しく彩ってくれました。



（上）年代別給食献立のレプリカ（福岡県学校給食会所蔵）
（下）小学校の歴史についての展示の様子

1 小学校のはじまり

いわゆる「小学校」の歴史は明治時代にさかのぼります。維新後、明治新政府はさまざまな社会制度の改革を行います。その一つが学校の創設でした。明治5年「学制」（学校をつくる法律）が公布されると、各地に小学校が設置されていきます。福岡県では明治12年までに、公立707校、私立6校の小学校が作られました。その後、明治40年までに幾度かの法改正が行われ、義務教育制度や無償化、小学校6年制など、現在の小学校制度の原型が確立しました。

2 学校給食のはじまり

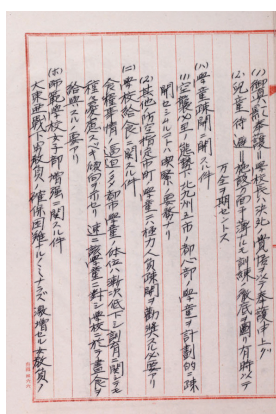
日本における学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町の私立忠愛小学校で、貧しい児童に、にぎりめしなどの昼食を与えたことに始まるといわれています。その後、大正12年の関東大震災をきっかけとして、行政主導で児童への給食の提供が行われるようになり、各府県でも学校給食の普及が進みました。昭和初期の国内不況に際しては、文部省が「学校給食臨時施設方法」という省令を発し、貧困児童救済のために、学校給食への国庫支出を行いました。福岡県では、県の予算に学校給食臨時施設奨励費を計上して給食の普及に努めたところ、給食の実施校は600校に及び、給与児童数は4,300人に上りました。昭和15年には「学

校給食奨励規程」（文部省令）が制定され、貧困児童に加え、栄養不良児や身体虚弱児童の栄養補給のために学校給食の実施が推奨されました。

このように戦前の小学校にも、学校給食の制度はありましたが、戦後の学校給食制度と異なり、全児童に実施されたものではありませんでした。

3 戦時中の小学校と給食

昭和16年4月に国民学校令が施行され、小学校は国民学校に改められました。国民学校では、学校を「国民錬成の道場」と位置づけ、教科教育のほかに、軍事教育も行われました。国民学校でも、学校給食が実施される動きはありました。昭和19年度の福岡県公文書「県政重要事項」には、食糧事情悪化により、学童の体位低下が懸念されるため、学校で昼食を給与する必要がある、との記載があります。国は、6大都市の学童に対し、味噌や米の特別配給による学校給食を計画しますが、実際には戦局悪化により実施にはいたらなかったようです。



国民学校の給食に関する件（福岡県公文書「県政重要事項」昭和19年度）



戦後の学校教育

戦後の学校教育は、民主的なものに刷新されます。昭和22年4月に施行された「教育基本法」や「学校教育法」では、教育の機会均等や6・3制の義務教育をはじめとする民主的な学校運営と新しい教育方針が策定されました。小・中9年制の義務教育課程は、明治以来の学制の大きな変化でした。

近年では、公立校の完全週5日制の実施（平成14年）や、小中一貫の義務教育学校の創設（平成27年）などの制度改正が行われています。歴史の歩みと共に変化してきた学校教育制度は、現在もなお、過渡期のなかにあるといってもよいでしょう。

戦後の学校給食

戦後 食糧難とインフレにより、子どもの栄養状態は極度に悪化し、学校給食の開始は国家として緊急課題となりました。昭和21年、文部・厚生・農林三省次官通達「学校給食実施の普及奨励について」により、戦後の学校給食開始の方針が示され、翌年から全国都市の児童300万人に対し学校給食が開始されました。福岡県でも、「福岡県学校給食実施要領」を定め、県内169の小学校で給食を開始し、翌年には町村部の学校にも拡充していきました。しかし、給食用物資の財源であった、アメリカの占領地

6 現在の学校給食

学校給食法成立以降、災害時また炭鉱不況などによる欠食児童に対する特別給食による支援、中学校への給食制度の拡充、脱脂粉乳から国産牛乳への転換、給食センターの設置、米飯給食の導入、へき地学校への給食支援、地産材料による献立の導入など、学校給食の普及充実にの取り組みがさまざまになされました。学校活動においても、学習指導の場として重要視されるようになり、平成17年に制定された「食育基本法」を受けて、平成20年の「学習指導要領総則」で初めて

二月八日	二月七日	月
ねりもの	たんご汁	飯
さの ごま油 粉	オム レツ シタ	煮 ごま油 粉
100.00	30	80.00
200.00		200.00
たの 魚と野菜漬物	米	炊
ゆ 米の り粉	つた 菜油 根油	醬 油 油
100.00	30.00	100.00
200.00		200.00
飯 炊 米	飯 炊 米	飯 炊 米
100.00	30.00	100.00
200.00		200.00
飯 炊 米	飯 炊 米	飯 炊 米
100.00	30.00	100.00
200.00		200.00
飯 炊 米	飯 炊 米	飯 炊 米
100.00	30.00	100.00
200.00		200.00

昭和22年の百道松風園の献立表(福岡県公文書『児童関係綴り』昭和26年度)

域救済政府資金が昭和26年6月末で打ち切られることとなり、学校給食は中止の危機にさらされます。全国の教員や保護者らは、国庫補助による学校給食の継続を要求する運動を展開し、政府も学校給食の継続を決定しました。昭和29年6月に「学校給食法」が成立し、ようやく学校給食の実施体制が法的に整いました。

学校における食育の推進が明示されました。

学校給食の歴史をひもとくと、貧困や災害、戦争という、子どもたちの「食」の危機を背景として進展してきたことがわかります。食えることは生きることの基本であり、学びの基本です。学校給食の存在意義は、今後ますます多様化し、また重要になっていくかもしれません。

*
*
*

企画展の開催に伴い、久留米市教育委員会、筑紫野市歴史博物館、福岡県学校給食会（敬称略、五十音順）には、資料の借用、ご教示等でご協力を賜りました。記して御礼申し上げます。

今回の企画展では、展示室のほか、エントランスでパネル展示を行ったり、石盤やアルマイト食器に触れてもらうコーナー、小学校や給食の思い出をお客様ご自身に展示してもらうコーナーを設け、たくさんの方に参加していただくことができました。展示期間中、1,118名のお客様にご観覧いただきました。ご家族連れのお客様が多く、館内には子どもたちの元気な声がびびき、楽しい企画展となりました。ありがとうございました。



日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

す

中学生職場体験学習

ごっ!!こんな事するんだあ!



平成31年2月19日（火）から2日間、筑紫野市立筑紫野南中学校の2年生7人が公文書館業務を体験。

職員へのインタビューや職場体験をまとめた「壁新聞」をロビーに展示しました。体験先が決定したときは存在すら知らなかった公文書館でしたが、公文書を未来に残すために重要な施設であることがわかりました。

スケジュール表

研修日		研修内容
2月19日（火） （1日目）	AM	オリエンテーション 市町村広報紙登録配架作業
	PM	主催講座資料製本作業 中性紙保存箱組立作業
2月20日（水） （2日目）	AM	職員へのインタビュー 壁新聞づくり
	PM	レファレンス体験 スキャニング体験



◀ オリエンテーション（施設説明・見学）で「旧直方町役場」を再現したパネルをめぐり、企画展「近代福岡の公共建築物」について説明を受けました。



◀ 福岡県だよりと市町村広報紙を登録・配架する作業を体験しました。

将

福岡県教育庁等高校生インターンシップ研修
来に向けて広がる可能性

令和元年7月24日（水）からと31日（水）からの3日間、福岡県立高等学校の2年生3人ずつ（6人）が公文書館業務を体験。

公務員は事務作業というイメージでしたが、公文書館の様々な仕事を体験できました。また、異動があっても、新しい担当者が分かるように資料を整理することが大切と教わりました。



▲ 2台のパソコンを併用しながら行政資料を登録しました。



▲ 移管リストと文書（簿冊）を突き合わせるチェック作業を体験しました。

スケジュール表

研修日		研修内容
1日目	AM	オリエンテーション 市町村広報紙登録配架作業
	PM	市町村広報紙への情報掲載確認 複製物一覧作成、簿冊確認
2日目	AM	文書整理保存業務 行政資料登録、燻蒸作業準備
	PM	利用申請対象文書の再審査 スキャニング
3日目	AM	講演会・講座会場設営 企画展の見所紹介ポスター作成



◀ 制限すべき個人情報等がマスキングされているかを確認しました。

日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

鶏

公文書館主催講演会
肉王国！福岡の食文化!!



令和元年7月27日（土）に、「記録・文献史料にみる福岡県の食文化誌～福岡の鶏肉・鶏卵の食文化を中心に～」と題して講演会を実施。講師は日本経済大学教授の竹川克幸氏。鶏肉食文化についての史誌に加えて、実家の食事情や献立写真を交えてのユーモアたっぷりの講演に、74名の参加者からは笑いや感嘆の声があがりました。

世

公文書館主催講座「和綴じ講座」
界に1つの和綴じ本が完成



令和元年8月3日（土）に、小学生親子や中学生27名が伝統的な和本の綴じ方によるワークショップに参加。講師は元福岡女子短期大学准教授の倉本優子氏。伝統的な和本の綴じ方「四つ目綴じ」によるオリジナル和綴じ本（メモ帳）を作成。表紙の和紙がたくさんあって迷うのも楽しく、最後は完成した作品を手元に記念撮影をしました。

公

（一社）九州インターンシップ推進協議会
文書館で体験、産・学・官の連携事業

令和元年8月16日（金）から5日間、福岡県内の大学生2名が公文書館業務を体験。「一般社団法人九州インターンシップ推進協議会」は産学官連携により組織されており、学生の職業観の形成や自己の適性理解促進に資することを目指している団体。

学芸員を目指しており、展示や特定歴史公文書の取扱について学びました。戦後直後の公文書に比べて明治時代の公文書の方が、状態が良いことに驚きました。公文書には当時の社会情勢も反映されています。（九州産業大学国際文化学部1年）

地域振興に興味を持ち、行政関係のゼミに所属。公文書は地域の歴史と現在を知る重要な資料であり、保存管理の重要性を実感しました。また、公文書館業務に携わる上で集中力や忍耐力が必要だと思いました。（西南学院大学法学部3年）



◀ 移管文書全てに目を通し、概要等の情報を選別シートに入力する作業を行いました。

▶ 利用請求のあった公文書の複製物を作成するため、スキャニングとマスキング、製本まで仕上げました。

スケジュール表

研修日		研修内容
8月16日（金） （1日目）	AM	オリエンテーション 業務概要説明
	PM	文書移管リスト突合作業 不要搬入箱解体作業
8月17日（土） （2日目）	AM	利用簿冊・複製物の収納 スキャニング
	PM	複製物作成 マスキングチェック
8月20日（火） （3日目）	AM	選別シート作成
	PM	選別会議 資料IDバーコード貼付
8月21日（水） （4日目）	AM	保存庫内書架番号付与 複製物配架
	PM	複製物リスト作成
8月22日（木） （5日目）	AM	イベント用チラシ配布準備



公文書館のしごと ①「公文書がやってくる！」編



福岡共同公文書館の取り組みを、当館キャラクターの「しょこら」が紹介します。

公文書とは、行政が作成または収受した文書で、地方自治体の諸活動や歴史的事実の記録となる重要な文書のことです。これらの公文書の適切な保存管理と利用を図るための施設が「福岡共同公文書館」です。今回は「県や市町村からどのように移管されるか」をご紹介します。

● 県や市町村の文書担当部署から公文書館への「移管」までのながれ



① 担当者が文書管理規定等に基づき「移管リスト」を作成。
(移管元自治体による一次選別)



② リストと公文書を確認しながら箱詰め作業。



③ 箱番号(〇〇町 〇／全体)を記した用紙を貼る。



⑥ 箱数を確認し、選別室の書架に仮置。



⑤ 日程調整後、公文書館が手配する運送会社による集荷・運搬。



④ 移管予定文書を市町村の一室に集荷。

しょこらのつぶやき

「共同」公文書館なんだけど、まだまだ、市町村の書庫に眠っている公文書がたくさんあるんじゃないかな…。ねずみやゴキブリなんか、文書をかじったり糞尿で汚したりするから大事な公文書の管理って意外と大変なんだけど、完全防備の公文書館に移管しちゃえば、永久保存ができるんだ。どんどん移管して、どんどん遺す。必要なときにどんどん利用する。福岡県には、県と市町村が共同で永久保存できる全国唯一の施設があるんだから、どんどん使ってほしいなあ。

選別会議実施状況

選別会議…自治体の一次選別を経て搬入された公文書について公文書館の評価選別基準により二次選別を行います。選別会議の結果、特定歴史公文書に該当すると判断された公文書について移管されます。

福岡県	行橋市	中間市	添田町	大川市	糸島市	芦屋町	桂川町	東峰村
大木町	柳川市	朝倉市	筑前町	田川市	新宮町	水巻町	嘉麻市	宇美町
志免町	大刀洗町	豊前市	大牟田市	みやま市	糸田町	川崎町	みやこ町	

▲ 平成31年2月から令和元年10月までの分

活 動 報 告

平成30年度

11月15日	平成30年度 第2回 運営専門協議会
2月5日	企画展 近代福岡の公共建築物—移り変わるまちの記憶—(～3/20) ● 公開講座「はじめてのくずし字①」開催【40名】
2月12日	公開講座「はじめてのくずし字②」開催【40名】
2月14日	平成30年度 第3回 運営専門協議会
2月19日	筑紫野南中学校職場体験受入(～20日)
2月23日	講演会「福岡・北九州の近代化遺産～都市の発展と地域を彩る各種産業～」 (講師 九州大学大学文書館 協力研究員 市原 猛志 氏) 講演会「近代日本の府県庁舎—旧福岡県庁をめぐる建築資料と歴史資料—」 (講師 九州歴史資料館 学芸員 渡部 邦昭 氏)
3月4日	平成30年度 特定歴史公文書利用審査会
3月9日	公開講座「和綴り講座」開催【28名】 (講師 元福岡女子短期大学 准教授 倉本 優子 氏)



▲ 平成30年度第2回企画展 展示室
開催期間2/5～3/20(37日間)の来場者は603名でした。「現存しない建築物の図面や、昔の福岡市鳥瞰図が見れて感動しました!」という声をいただきました。



▲ 講演会「福岡・北九州の近代化遺産」



▲ 講演会「近代日本の府県庁舎」
豪華2本立ての講演会でした。3時間にわたる講義でしたが、講師の先生方のテンポが良い口調に、参加者からは「お二方ともお話が上手で、バナナのたたき売りのような楽しさ」「建築物の見方や裏話など盛りだくさんでとてもよかった」と大好評でした。



▲大任町区長会 視察見学
福岡共同公文書館紹介DVDを視聴したあと、バックヤードを視察見学。

令和元年度

4月11日	福岡県市町村職員 新規採用職員研修①【99名】
4月18日	福岡県市町村職員 新規採用職員研修②【93名】
4月25日	福岡県市町村職員 新規採用職員研修③【90名】
4月26日	久留米大学 文学部 国際文化学科視察見学受入【30名】
5月9日	福岡県市町村職員 新規採用職員研修④【90名】
5月16日	福岡県市町村職員 新規採用職員研修⑤【93名】
5月23日	福岡県市町村職員 新規採用職員研修⑥【92名】
5月24日	令和元年度 運営会議
6月24日	令和元年度 第1回 運営専門協議会
7月5日	九州大学大学院 ライブラリーサイエンス専攻視察見学受入【5名】
7月18日	小竹郷土研究会 視察見学受入【18名】
7月24日	福岡県教育庁等高校生インターンシップ研修生受入(～26日)
7月27日	講演会「記録・文献史料にみる福岡県の食文化誌～福岡の鶏肉・鶏卵の食文化を中心に～」 (講師 日本経済大学 教授 竹川 克幸 氏)
7月30日	福岡地区県立学校事務職員協会 初任者研修【23名】
7月31日	福岡県教育庁等高校生インターンシップ研修生受入(～8/1)
8月3日	公開講座「和綴り講座」開催【27名】 (講師 元福岡女子短期大学 准教授 倉本 優子 氏)
8月16日	大学生インターンシップ研修生受入(～22日)
8月31日	志免町放課後等デイサービスはっぴーりーふ 見学受入【21名】
10月18日	那珂川市まちをみつめよう学級講座社会見学受入【10名】
10月23日	岡山県立記録史料館職員 視察見学【1名】
10月30日	大任町区長会 視察見学受入【25名】 ●

● INFORMATION

令和元年度 第2回 企画展

ふくおか スポーツの軌跡

2月4日(火)～3月22日(日)

「ラグビー・ロス」という言葉も誕生したワールドカップ日本開催が終わり、次は東京オリンピック・パラリンピック。そこで、今年度第2回企画展は「スポーツ」に注目し、くらしの中のスポーツやとびうめ国体グッズなどを中心に展示します。

所蔵資料のご紹介

昭和の大嘗祭記録フィルム



▲「大嘗祭悠紀主基斎田 (複製)」
(16ミリフィルム、1-1-0042325)

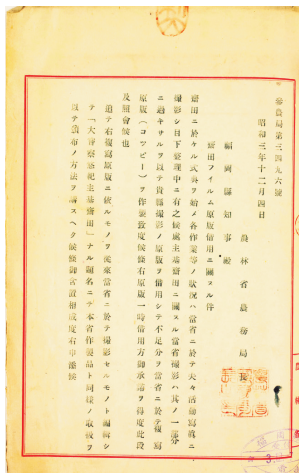
今夏、福岡県立図書館から、昭和3年に行われた昭和天皇即位の際の、大嘗祭及び悠紀主基斎田を記録した、貴重な16ミリフィルム「大嘗祭悠紀主基斎田」(複製)と同フィルムをデジタル化したDVDが移管されました。この年、大嘗祭に米を供納する主基地方に福岡県が選ばれ、当時の早良郡脇山村(現・福岡市早良区脇山)で米作りが行われました。フィルムには、種まき、御田植祭、抜穂式、収穫、供納米の輸送までの様子が収められています。この主基斎田事業に関する公文書と写真帳は、平成24年度に当館に移管さ

れており、今回ここに映像記録が加わったことになります。

この記録フィルムは、農林省農務局が撮影したもので、もともとは35ミリフィルム3巻でした。昭和47年、福岡県農業総合試験場は、所蔵していたフィルムの保管を福岡県立図書館(当時は福岡県文化会館)に委託し、同年NHKはこのフィルムを借用して、16ミリフィルム2本を複製し、うち1本を農業試験場に提供しました。後に農業試験場から県立図書館へ寄贈された複製フィルムの映像が、このたび県立図書館でデジタル化され、フィルム本体は当館へ移管されました。

映像フィルムは、現存を確認できません。ただ、当時の公文書の中に、農林省農務局長から福岡県知事に宛てた文書が残っており、「斎田に於ける式典を始め各作業等の状況は当省に於て夫々活動写真に撮影し、目下整理中」であるが、「主基斎田に関する当省撮影は其の一部分に過ぎ」ず「貴県撮影の原版を借用し」、「当省に於て撮影せるものと編輯して『大嘗祭悠紀主基斎田』なる題名」で頒布したい、として、福岡県に撮影フィルムの借用を申し入れています。つまり、まぼろしの福岡県による記録映像は、農林省の「大嘗祭悠紀主基斎田」にその一部を見ることができる、ということです。

フィルム「大嘗祭悠紀主基斎田」の内容は、福岡県立図書館のホームページおよび当館に移管されたDVDで見ることが出来ます。
(相談員 荻野寛美)



▲福岡県撮影フィルムの借用を依頼する農林省からの文書
(「主基斎田事蹟 十七冊ノ六」
1-1-0005904)

福岡共同公文書館

〒818-0041

福岡県筑紫野市上古賀1-3-1

電話 092-919-6166

FAX 092-919-6168

交通アクセス

JR

「二日市駅」下車徒歩約13分または
西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分

西鉄

「二日市」下車
西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分

車

九州自動車道「筑紫野インター」より約5分



福岡共同公文書館には宝くじの収益金が活用されています。